

会 長  
コ タ ニ エ ッ ジ  
小 谷 悦 司

経歴	1939年	3月	大阪市生れ
	1962年	3月	中央大学法学部法律学科卒業
	1962年	4月	東京松田特許事務所入所
	1964年		弁理士国家試験合格
	1965年	4月	大阪にて小谷特許事務所開業
			大阪府立大学工業短期大学部機械工学科にて2年間機械工学を学ぶ
	1967～72年		日本パテントアカデミー講師
	1976年～		日本弁理士会研修所講師
	1976年～2010年	3月	日本知的財産協会（旧日本特許協会）研修部講師
	1985年	1月	三協国際特許事務所と改称
	1985年	4月	弁理士会副会長
	1986年	4月～89年	3月 弁理士会近畿支部副支部長
	1989年	4月～90年	3月 弁理士会近畿支部支部長
	1989年	10月～91年	9月 通産省工業所有権審議会委員
	1990年	10月～91年	4月 (財)知的財産研究所 クレーム解釈委員会委員
	1992年	4月	工業所有権制度特別功労者として通産産業大臣表彰を受ける
	1993年	8月	(財)知的財産研究所 意匠の保護範囲明確化委員会委員
	1995年	4月	黄綬褒章受章
	1997年	9月～01年	3月 弁理士会中央知的財産研究所研究員（不正競争防止法2条1項1号～3号）
	1999年	7月～09年	6月 大阪地方裁判所民事調停委員（知的財産）
	2000年	3月～16年	3月 京都工芸繊維大学大学院非常勤講師（知的財産法）
	2001年	8月～03年	3月 (財)知的財産研究所 クレーム解釈委員会委員
	2006年	6月～12年	3月 日本工業所有権法学会理事
	2006年	12月～07年	12月 甲南大学企業法務研究所客員研究員
	2008年	4月～13年	3月 吉備国際大学大学院知的財産学科教授

-----  
主な著作：

- ・「特許裁判における均等論」（編著）
- ・「改正中国特許法」（共著）
- ・「意匠・デザイン」の法律相談」（編著）
- ・「中国特許侵害訴訟の実務」（共著）

主な論文：

- ・「我が国における最近の権利範囲解釈の傾向について」（特許管理 Vol.29 No.7）
- ・「意匠の要部認定と類否判断」（企業法研究 No.262）
- ・「出願経過の参酌（禁反言と出願人の認識）」（馬瀬文夫古稀記念論文集）
- ・「意匠の類否判断」（内田修古稀記念論文集）
- ・「一つの商標から二つの称呼、観念が生じると認定することの是非、及び商標の類似判断と具体的取引の実情」（村林隆一還暦記念論文集）
- ・「商品の色彩は『其ノ他他人ノ商品タルコトヲ示ス表示』に該当するか否か」（小野昌延還暦記念論文集）
- ・「わが国のクレーム解釈の現状と国際的調和」（パテント Vol.46 No.4）
- ・「実質同一クレームを記載することの実務的意義」（パテント Vol.46 No.10～11）
- ・「無限摺動用ボールプライン軸受事件控訴審判決の意味するもの」（パテント Vol.47 No.10～11）
- ・「類似意匠制度に関する諸問題」（本間崇還暦記念論文集）
- ・「クレーム記載要件に関する特許法の改正とクレーム解釈」（田倉整古稀記念論文集）
- ・「均等論」（内田修傘寿記念論文集）
- ・「均等論の動向 — ボールスプライン最高裁判決が示した均等論と今後の動向 —」（パテント Vol.53 No.9）
- ・「最近の進歩性判断にみる問題点」（知財ぷりずむ 平成18年7月号）
- ・「改正意匠法24条2項について」（パテント Vol.60 No.3）
- ・「部分意匠の類否判断における実線部分と破線部分の関係」（知財ぷりずむ 平成19年5月号）

他多数